

二十歳の節目に祝福を

大人の一步をお祝い

令和4年の成人式典の対象者は、平成13年(2001)4月2日から平成14年(2002)4月1日に生まれた281人(男性145人、女性136人)でした。当日はそのうち235人(出席率83.6%)が出席しました。

1月9日、澄み切った青空が映え渡る会場の中央公民館では、華やかな振り袖や羽織袴、真新しいスーツに身を包んだ新成人が晴れやかな笑顔とともに集い、懐かしい顔を見つけてはお互いの成人を祝い合っていました。式辞に立つ

められる節目の年。若者らしい高い理想と夢を持ち、大いに活躍していただきたい」と述べました。



続いて町議会の松村潤議長は「人生の中で、今が一番輝かしい時期。未来には無数の道があるが、平坦ではなく自分で切り開く努力が必要。自分の信じる道に向かって常にまい進してほしい」と激励しました。



た金子正一町長は「二十歳という年齢は、一人の立派な社会人として常に責任ある言動が求められる節目の年。若者らしい高い理想と夢を持ち、大いに活躍していただきたい」と述べました。



掲載しきれない写真
少しだけあります



Photo Motto

▼お世話になった先生たちからのビデオメッセージ。久しぶりに見る恩師たちの登場に会場は大盛り上がり。



▲式典会場内の様子。旧友たちとの再会に、自然と笑みがこぼれます。



▼自分たちで選んだ記念品の紹介をする成人式典実行委員たち。新成人には昔懐かしのクレパスのパッケージに入ったミニタオルが贈られました。



▲保護者や付き添いの人たちは別室で、会場からの中継映像を見ながら式典の様子を観覧しました。

成長し、進んでいく

祝福と激励を受けた新成人を代表して甘畑蒼生さんは謝辞の中で、「私たちは日々、自分でも気付かないうちに少しずつ成長していて、その小さな成長に気付くことが更なる成長の糧になる。一人の社会人としての自覚と責任を持ち、たくさんの経験と小さな気付きを積み重ねて、成長していきたい」と志を表しました。

同級生との再会に刺激を受けて

同じ学び舎で過ごした仲間たちがそれぞれの道を歩み始めている二十歳。コロナ禍という逆境の時代にありながらも、それぞれが人生模様を描き、追いたい夢や希望を抱きます。

この日、友人との再会、成長に刺激されながら、大人になることへの自覚と責任を持ち、新たな第一歩を踏み出した新成人。

輝く笑顔とともに、明るい未来に向かって歩き始めました。



▲企画から準備、当日の司会進行までやり遂げた成人式典実行委員の皆さん。左から、飯田琴美さん(寺中・26区)、根岸玲皇さん(店高原・28区)、森愛莉さん(馬場大林・25区)、鈴木美麗さん(水立大黒・23区)、佐藤壮成さん(店高原・28区)、実行委員長の甘畑蒼生さん(坪谷・22区)。

2022年4月1日から

成年年齢引き下げでどうなる？

「民法の一部を改正する法律」の施行により、2022年4月からは成年年齢が20歳から18歳へ引き下げられます。これから成年を迎える人や、すでに成年している人も、18歳になってできることや、できないことなどを正しく理解しましょう。



●民法改正の背景と変更時期

近年、選挙権年齢が18歳に引き下げられるなど、国政の重要な判断に関して18~19歳の人を大人として扱うという政策が進められてきました。こうした情勢を踏まえ、民法においても、18歳以上の人を大人として取り扱うのが適当ではないかという議論がされるようになりました。世界的に見ても、成年年齢を18歳とするのが主流です。

成年年齢を18歳に引き下げるとは、18~19歳の若者の自己決定権を尊重するもので、その積極的な社会参加を促すことになると考えられます。

2022年4月1日の時点で18歳以上20歳未満の人は、その日に成年に達することになり、2004年4月2日生まれ以降の人は、18歳の誕生日に成年に達することになります。

○ 18歳でできること

一人で契約ができる

親の同意を得ずに、さまざまな契約をすることができるようになります。携帯電話や賃貸住宅の契約、クレジットカードの作成やローンを組んで車の購入もできます。

住む場所や進路を自分で決められる

住む場所や進路を自分の意思で決めることができます。もっとも、進路決定については親や学校の先生の理解を得ることが大切なことには変わりはありません。

各種資格の取得ができる

国家資格や10年有効パスポートの取得。家庭裁判所で性別の取り扱いの変更審判を受けることなどができます。

結婚ができる

女性の結婚可能年齢がそれまでの16歳から18歳に引き上げられ、男女共に18歳から結婚が可能になります。

町の成人式典はどう変わる？

町では、18歳の多くが高校3年生であり、進路に関わる大事な時期にあたることを考慮し、民法改正後の令和4年度以降も、20歳を迎える人を対象に「成人式典」ではなく、「二十歳のつどい」として1月に開催します。

令和5年 邑楽町二十歳のつどい

- ▶期日 令和5年1月8日◎
- ▶対象者 平成14(2002)年4月2日~平成15(2003)年4月1日に生まれた人
- ▶問合せ 町教育委員会生涯学習課 ☎47-5043



× 18歳でできないこと

飲酒・喫煙

健康面への影響や非行防止、青少年保護などの観点から、飲酒や喫煙はこれまでと変わらず20歳からです。



公営競技の投票券の購入

ギャンブル依存症の観点から、公営競技(競馬、競輪、競艇、オートレース)についても、これまでと変わらず20歳からです。



大型・中型自動車免許の取得

普通自動車免許は18歳から取得できますが、中型免許は20歳。大型免許は21歳から取得できます。
※2022年5月以降に緩和の見込み。

二十歳の誓い

新たに

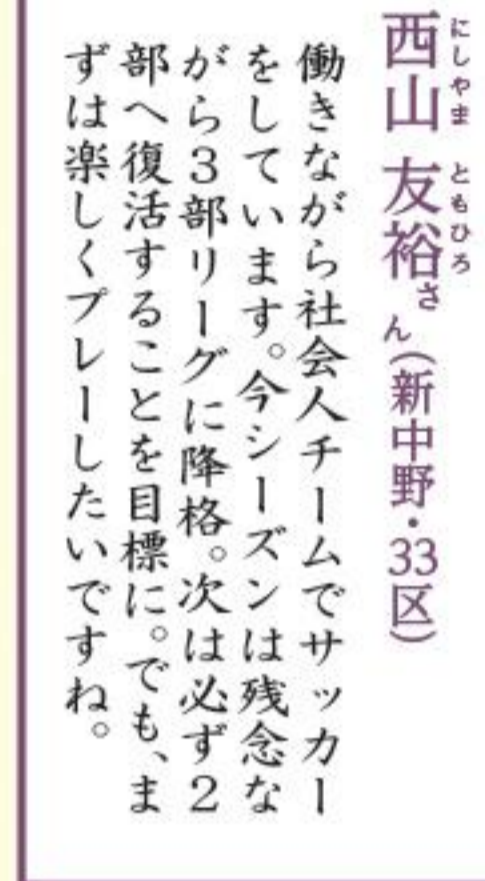
明日への歩みを また一歩



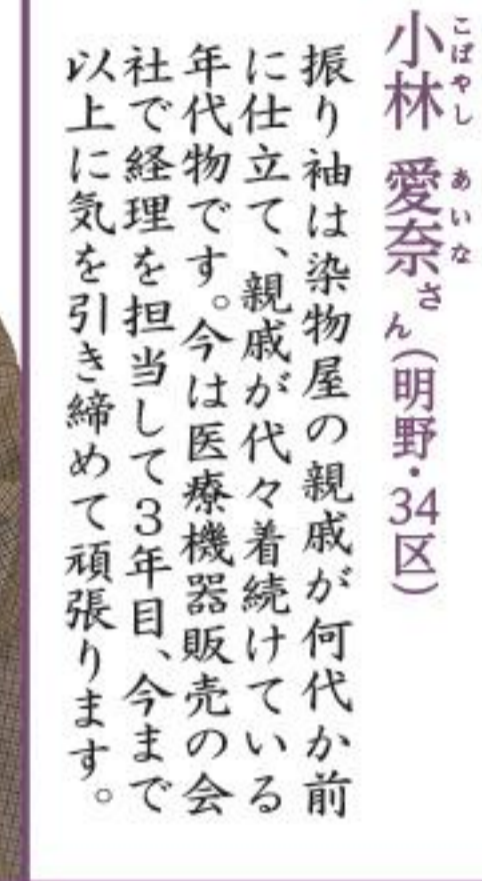
有坂 風紗さん(店高原・28区)
ダンスの大会に向け練習演習の毎日。教職の勉強と両立できるような奮闘中です。将来は群馬で先生になりたいいな。お世話になった人たちに恩返しできるように頑張ります。



川田 峻斗さん(寺中・26区)
総合建設業で働いています。いろいろな経験ができるのでやりがいを感じています。この日のために髪を編み込んできました。歌が得意なので将来は歌で有名になりたいです。



西山 友裕さん(新中野・33区)
働きながら社会人チームでサッカーをしています。今シーズンは残念ながら3部リーグに降格。次は必ず2部へ復活することを目標に。でも、まずは楽しくプレーしたいですね。



小林 愛奈さん(明野・34区)
振り袖は染物屋の親戚が何代か前に仕立て、親戚が代々着続けている年代物です。今は医療機器販売の会社で経理を担当して3年目、今以上に気を引き締めて頑張ります。



松崎 光来さん(明野・34区)
大学でスポーツについて学びながら、新しくできた友達と大学生活を楽しんでいます。将来何になるかはまだ決めていないけれど、これから少しずつ考えていきたいです。



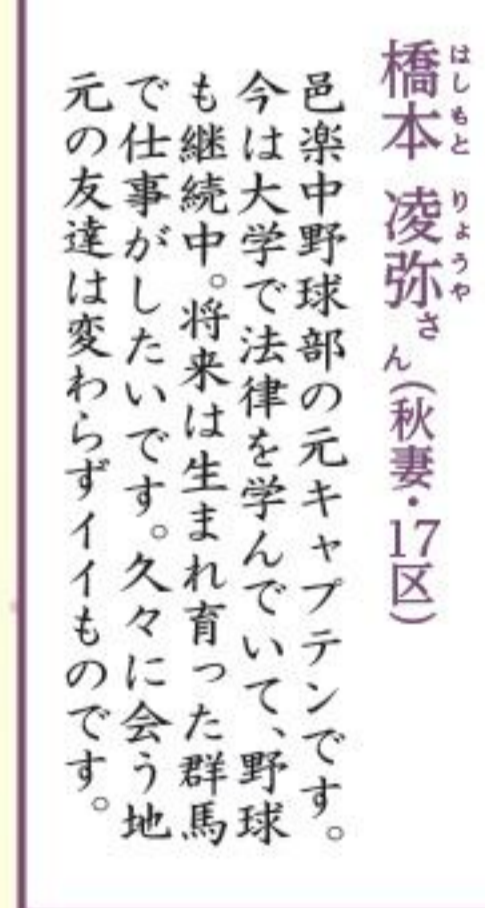
辻口 愛さん(新中野・33区)
韓国が大好きなので、将来は韓国でやりたいことを見つけて仕事にしたいです。そのために現在は韓国語を勉強中。おしゃれのセンスや個性を磨いて「いい女性」を目指します。



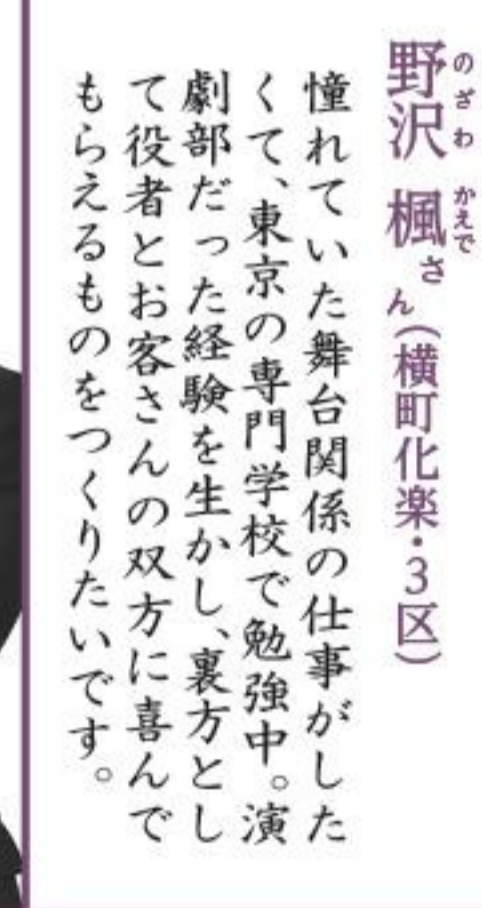
舟木 皓基さん(西ノ根宮内中島・24区)
大学で経営学を学んでいて、将来は起業を目指しています。今の自分には家族や友人たちのおかげなので、感謝の気持ちを忘れずに今後の人生を歩んでいきたいです。



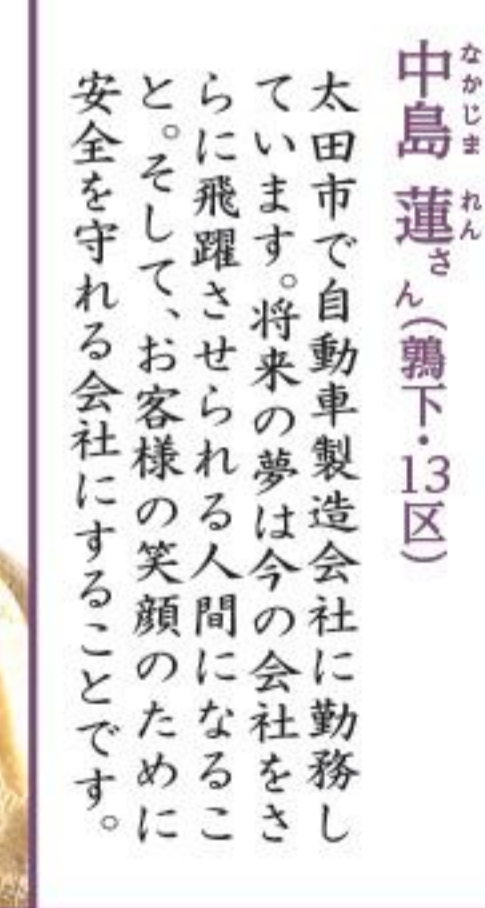
町田 友理奈さん(天王元宿ら5区)
今は美容系の専門学校に通っていて、4月からはフォトスタジオで働きます。人生の節目に寄り添える素敵な仕事のため、まずは1カ月後の美容師の国家試験を頑張ります。



橋本 凌弥さん(秋妻・17区)
邑楽中野球部の元キャプテンです。今は大学で法律を学んでいて、野球も継続中。将来は生まれ育った群馬で仕事したいです。久々に会う地域の友達は変わらずイイものです。



野沢 楓さん(横町化薬・3区)
憧れていた舞台関係の仕事がしたくて、東京の専門学校で勉強中。演劇部だった経験を生かし、裏方として役者とお客さんの双方に喜んでもらえるものをつくりたいです。



中島 蓮さん(鶯下・13区)
太田市で自動車製造会社に勤務しています。将来の夢は今の会社をさらに飛躍させられる人間になること。そして、お客様の笑顔のために安全を守る会社になることです。



原島 由菜さん(石打・20区)
デザイン系の学校に通っていて、夢はビッグなグラフィックデザイナーになること。袴を選んだのは人より「ちょっと目立つかな？」と思って。母も気に入ってくれてうれしいです。



深澤 颯太さん(新中野・33区)
電機メーカーの製作所でリーダーとしてラインを回しています。人員配置対応などの仕事をしています。人として、そしてリーダーとして周りから慕われるような大人になります。



粗琴 規さん(前谷東原・2区)
特徴的なデザインが好きでこの振り袖にしました。今はアルバイトをしながら、大好きな韓国に住むことを目指し、韓国語を勉強中。そんな夢を聞いてくれる両親に感謝です。